

沖縄県、関東からの客が4割超

県外客の属性と旅行内容

属性	H27年度		第1回調査(6月)		第2回調査(7-8月)		第3回調査(10-11月)		第4回調査(2月)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
居住地	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
性別	7,217	50.0	5,000	50.0	5,000	50.0	5,000	50.0	5,000	50.0
年代	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
世帯年収	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
実訪回数	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
前回来訪時期	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
同行者	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
旅行先	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
泊数	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
宿泊施設	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
活動	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0



人気の守礼門

旅行先では84.0%が沖縄本島を訪れている。続いて石垣島と周辺離島(15.5%)、宮古島と周辺離島(7.3%)、マングラベツ(3.2%)の順となった。

活動は、「観光地めぐり」が最も多く62.6%であり、「レンタカー」が36.9%、「レンタサイクル」が36.9%、「レンタバイク」が36.9%と続いている。

27年度 「沖縄県観光統計実態調査」から

沖縄県では、日本人観光客の実態を把握し、観光施策の企画・立案・評価に資することを目的として、沖縄を訪問する日本人客を対象としたアンケート調査「観光統計実態調査」を実施している。平成27年度分の調査結果から沖縄県の県外客の旅行内容部分を抜粋して紹介する。

居住地では、関東が42%調査では女性が多く、第70代の比率が増加(30%)と最も多く、続いて30代調査(10、11月)は、世帯年収では、400万円未満が最も多く、第70代未満が最も多(11.7%)の順で、中部年代では40代が最も多(25.0%)だった。訪問回数では、初めてが最も多(50%)、2回目以上が20.0%、3回目以上が16.8%、4回目以上が11.1%、5回目以上が7.3%、6回目以上が4.5%、7回目以上が2.7%、8回目以上が1.6%、9回目以上が0.9%、10回目以上が0.5%、10年以上が0.2%と続いている。

同行者は、単身が最も多(41.1%)、夫婦が22.2%、親子が11.1%、祖父母が11.1%、兄弟姉妹が11.1%、友人知人が11.1%、その他が3.2%と続いている。

旅行先は、沖縄本島が最も多(84.0%)、石垣島と周辺離島が15.5%、宮古島と周辺離島が7.3%、マングラベツが3.2%と続いている。

泊数は、1泊が最も多(41.1%)、2泊が22.2%、3泊が16.8%、4泊が11.1%、5泊が7.3%、6泊が4.5%、7泊が2.7%、8泊が1.6%、9泊が0.9%、10泊以上が0.5%と続いている。

宿泊施設は、リゾートホテルが最も多(22.2%)、シティホテルが16.8%、旅館・ペンションが11.1%、民宿・民泊が11.1%、ドミトリー(共同泊施設・VFR)が11.1%、ワーケーションが11.1%、その他が11.1%と続いている。

活動は、観光地めぐりが最も多(62.6%)、レンタカーが36.9%、レンタサイクルが36.9%、レンタバイクが36.9%と続いている。

40代の来島が26% 84%が沖縄本島訪問 観光地めぐりがメイン

40代の来島が26%、84%が沖縄本島訪問、観光地めぐりがメイン。旅行先では84.0%が沖縄本島を訪れている。続いて石垣島と周辺離島(15.5%)、宮古島と周辺離島(7.3%)、マングラベツ(3.2%)の順となった。

活動は、「観光地めぐり」が最も多く62.6%であり、「レンタカー」が36.9%、「レンタサイクル」が36.9%、「レンタバイク」が36.9%と続いている。

旅行形態では個人旅行が最も多(49.5%)と続いている。調査時期別にみると、第2回調査(7-8月)は、那覇市が最も多(61.3%)、中部西海岸が32.1%、北部西海岸が31.7%、南部が28.8%、中部東海岸が19.1%、石垣島と周辺離島が15.7%、宮古島と周辺離島が7.3%、やんばるが6.7%、久米島以外の本島周辺離島が6.2%、久米島が1.9%、その他が0.4%と続いている。

泊数では、1泊が最も多(41.1%)、2泊が22.2%、3泊が16.8%、4泊が11.1%、5泊が7.3%、6泊が4.5%、7泊が2.7%、8泊が1.6%、9泊が0.9%、10泊以上が0.5%と続いている。

宿泊施設では、リゾートホテルが最も多(22.2%)、シティホテルが16.8%、旅館・ペンションが11.1%、民宿・民泊が11.1%、ドミトリー(共同泊施設・VFR)が11.1%、ワーケーションが11.1%、その他が11.1%と続いている。

活動では、観光地めぐりが最も多(62.6%)、レンタカーが36.9%、レンタサイクルが36.9%、レンタバイクが36.9%と続いている。



クルーズ船の寄港も増えている

クルーズ船の寄港も増えている。旅行形態では個人旅行が最も多(49.5%)と続いている。調査時期別にみると、第2回調査(7-8月)は、那覇市が最も多(61.3%)、中部西海岸が32.1%、北部西海岸が31.7%、南部が28.8%、中部東海岸が19.1%、石垣島と周辺離島が15.7%、宮古島と周辺離島が7.3%、やんばるが6.7%、久米島以外の本島周辺離島が6.2%、久米島が1.9%、その他が0.4%と続いている。

四半期別県外客マーケット

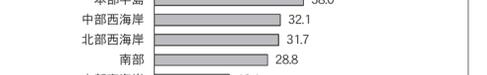
属性	4-6月期		7-9月期		10-12月期		H28年度	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
居住地	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
性別	7,217	50.0	5,000	50.0	5,000	50.0	5,000	50.0
年代	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
世帯年収	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
実訪回数	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
前回来訪時期	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
同行者	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
旅行先	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
泊数	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
宿泊施設	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0
活動	14,433	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0	10,000	100.0

四半期別県外客マーケット(つづき)

属性	1-3月期		H28年度	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
居住地	14,433	100.0	10,000	100.0
性別	7,217	50.0	5,000	50.0
年代	14,433	100.0	10,000	100.0
世帯年収	14,433	100.0	10,000	100.0
実訪回数	14,433	100.0	10,000	100.0
前回来訪時期	14,433	100.0	10,000	100.0
同行者	14,433	100.0	10,000	100.0
旅行先	14,433	100.0	10,000	100.0
泊数	14,433	100.0	10,000	100.0
宿泊施設	14,433	100.0	10,000	100.0
活動	14,433	100.0	10,000	100.0

平成27年度観光統計実態調査の調査概要

調査項目＝旅行者属性、旅行内容、消費額、主要離島調査、満足度調査。調査時期＝毎月金曜・日曜の2日間を年4回実施。調査対象＝航空機を利用して県外へ出域する日本人客(観光後の県外客)、圏域外へ出域する日本人離島観光客。調査方法＝那覇空港、石垣空港、宮古空港及び久米島空港の搭乗待合室において調査票を手渡し、郵送(料金受取人払い)にて回収。



訪問地域(複数回答)のデータは、那覇が最も多(71.1%)、本部半島が38.0%、中部西海岸が32.1%、北部西海岸が31.7%、南部が28.8%、中部東海岸が19.1%、石垣島と周辺離島が15.7%、宮古島と周辺離島が7.3%、やんばるが6.7%、久米島以外の本島周辺離島が6.2%、久米島が1.9%、その他が0.4%と続いている。

宿泊地域(複数回答)のデータは、那覇が最も多(61.3%)、北部西海岸が20.9%、中部西海岸が16.6%、石垣島と周辺離島が9.0%、本部半島が8.7%、宮古島と周辺離島が6.3%、南部が5.1%、北部東海岸が2.9%、本島東海岸が2.0%、久米島が1.9%、やんばるが1.8%、その他が0.2%と続いている。

前回の沖縄旅行との間隔(前回来訪時期)のデータは、1年以内が38.9%、3年以内が18.1%、5年以内が8.8%、10年以内が9.7%、10年以上が5.8%と続いている。

(注)1.横軸は左側から右側へ、縦軸は上から下へ表示している。(注)2.四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

調査データ